

# オリンピック・パラリンピック競技 会場の見直しについて (報 告)

平成28年12月22日  
オリンピック・パラリンピック準備局

# 会場見直しの結果について

---

## ➤ **ボート・カヌー(スプリント)会場**

海の森水上競技場で、当初案から整備レベルを変更、整備費を縮減し整備する(スマート案)。大会後は競技団体と連携し、利用者の増加と維持費の削減を目指す。20年目以降の大規模修繕の投資判断は、運営収支、利用状況なども勘案した上で判断する。

## ➤ **水泳会場**

オリンピックアクアティクスセンターを、現計画地において、当初の2万席規模を1万5千席規模に縮小して新設し、大会後の減築は行わない。

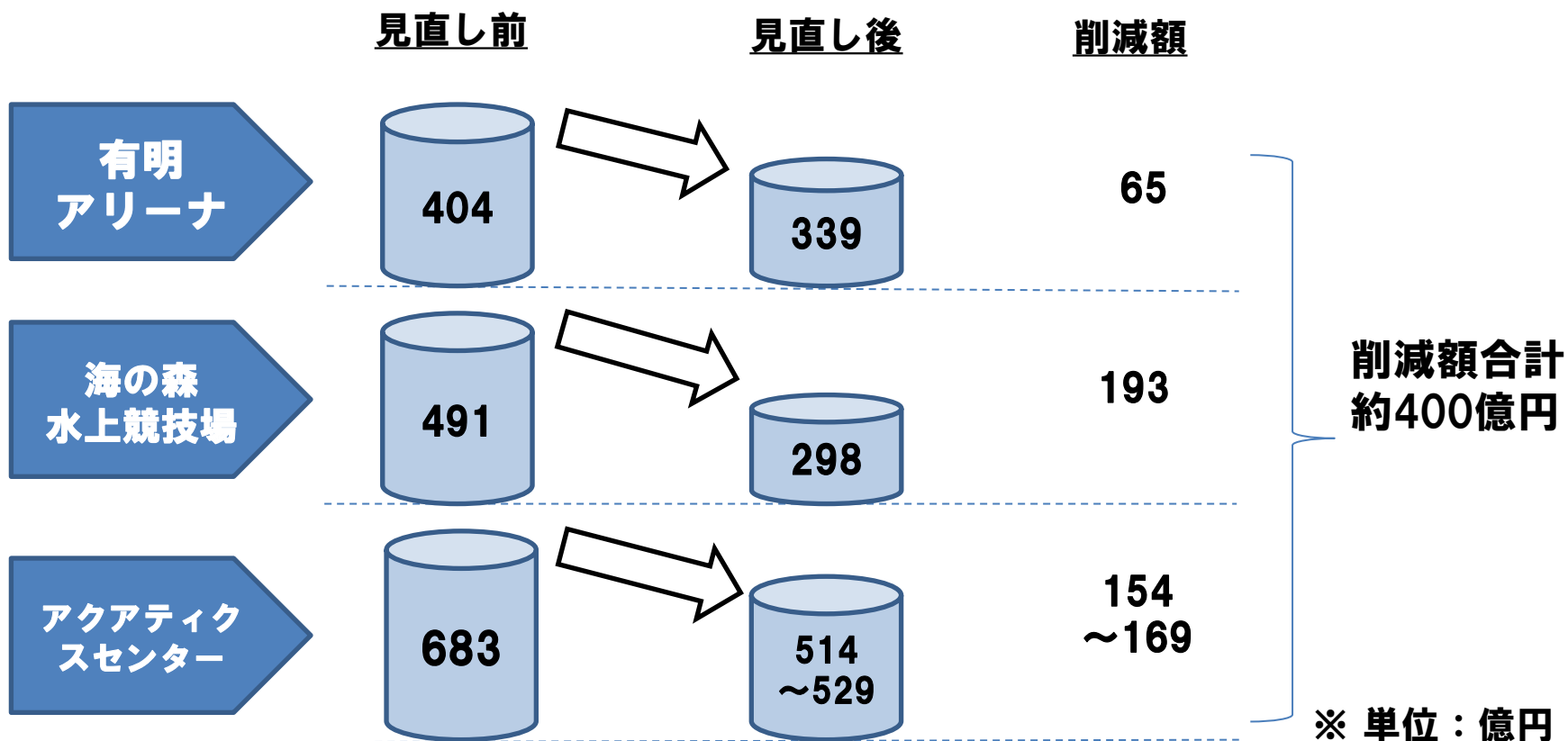
## ➤ **バレーボール・車椅子バスケットボール会場**

3つの視点※から、有明アリーナを整備する。

※【点(施設)から面(地域)へ、コストから将来への投資へ、官から民へ】

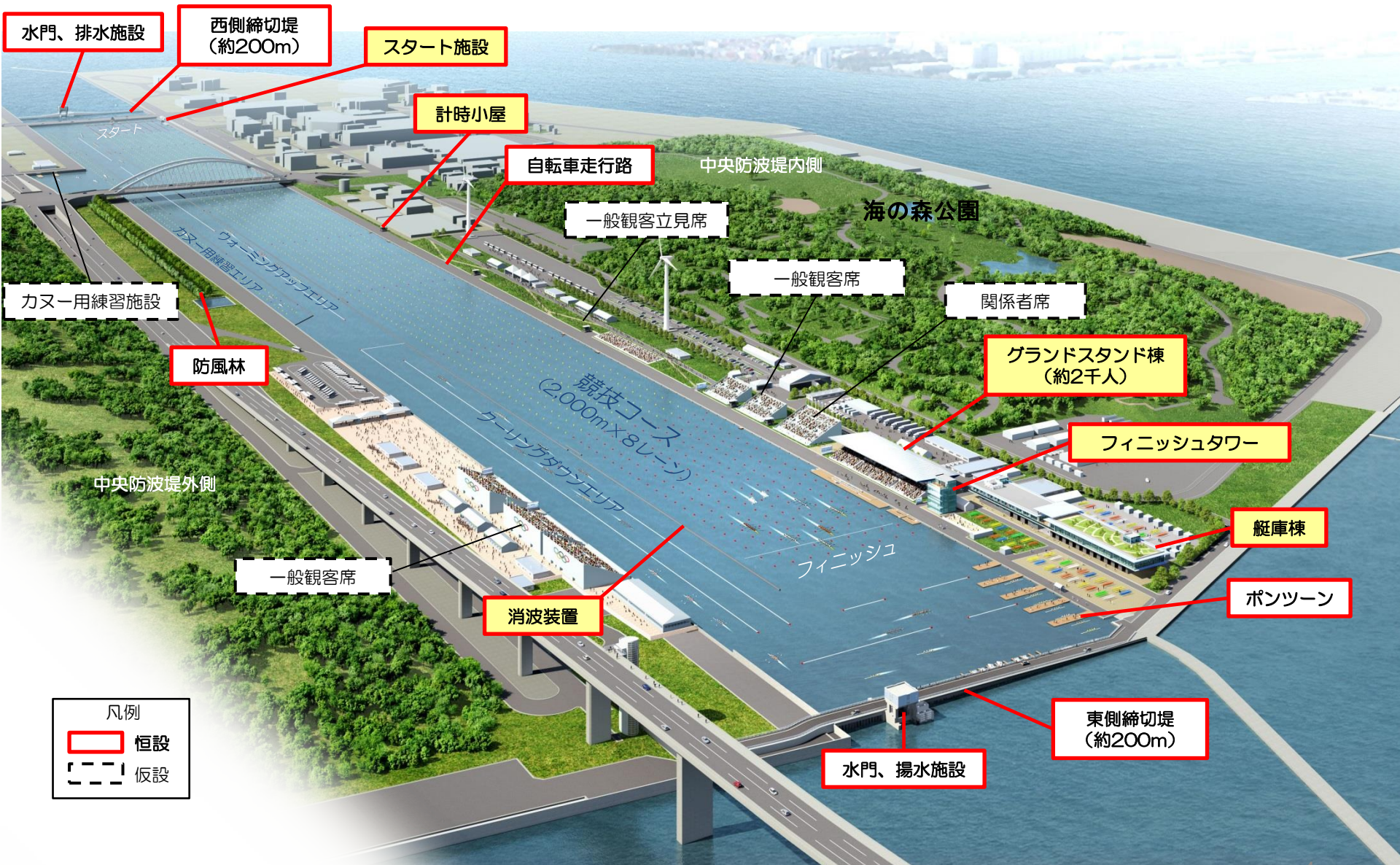
# 会場見直しと将来への投資

- 3施設の整備費について、ワイズスペンディングの観点から約400億円を削減
- 今後、環境性能の確保など将来への投資も実施



金額は、現時点での概算であり、今後、詳細な検討・設計を実施。契約変更の際には、単価・数量等を精査する。

# 海の森水上競技場 施設配置



※ パースは大会時イメージ (平成28年5月時点)

# 海の森水上競技場・スマート案

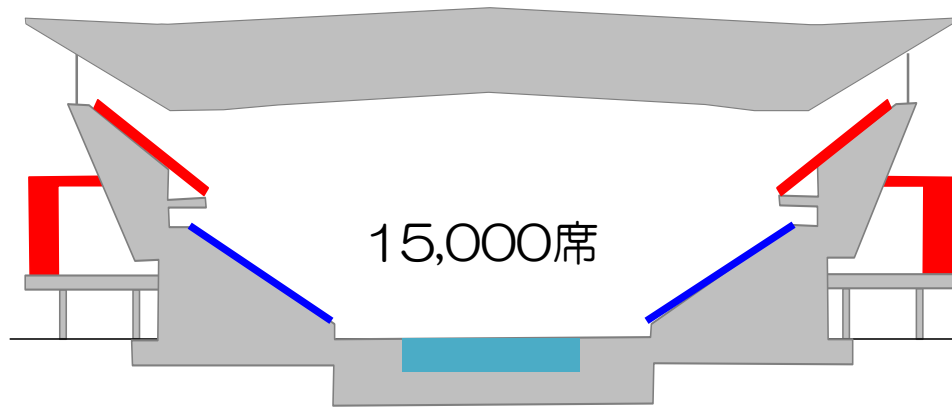
単位: 億円

事項		当初	縮減案	増減	主な縮減内容
● 契約が決まっている整備費		309	262	▲ 47	
	海の森水上競技場整備工事(DB)	249	209	▲ 40	<b>【建物】</b> ・グランドスタンド棟、艇庫棟を仮設レベルに低廉化 <b>【外構】</b> ・遮熱性舗装、カラー舗装、インターロッキング舗装を取止め一般舗装等へ変更、 ・高木、中木植栽を取止め種子吹付へ変更 ・フェンス、門扉、防護柵を取止め <b>【締切堤、水門】</b> ・締切堤の上部工幅縮小 ・南側取付部取止め、東西水門管理橋を取止め、通路機能廃止 ・北側通路嵩上げ材料見直し
	既設揚陸施設撤去・移設工事	40	38	▲ 2	・新設揚陸施設完了 ・既設撤去工事契約済
	調査・設計費	20	15	▲ 5	・調査・基本設計完了 ・アドバイザー業務一部契約済
● 今後措置する経費		92	26	▲ 66	
	IF等と協議中の施設	60	8	▲ 52	・TVカメラポンツーン取り止め ・防音壁規模縮小
	工事中のセキュリティへの対応費	20	8	▲ 12	・セキュリティ規模縮小
	大会後の改修工事費	12	10	▲ 2	・改修規模縮小
● 追加工事等が生じた場合の対応費		90	10	▲ 80	
合計		491	298	▲ 193	

※整備費及び整備内容の変更については、今後、IF等との協議、受注者との変更協議、詳細な設計等が必要

# オリンピックアクアティクスセンター 検討案（15,000席新築（減築なし））の詳細

大会時

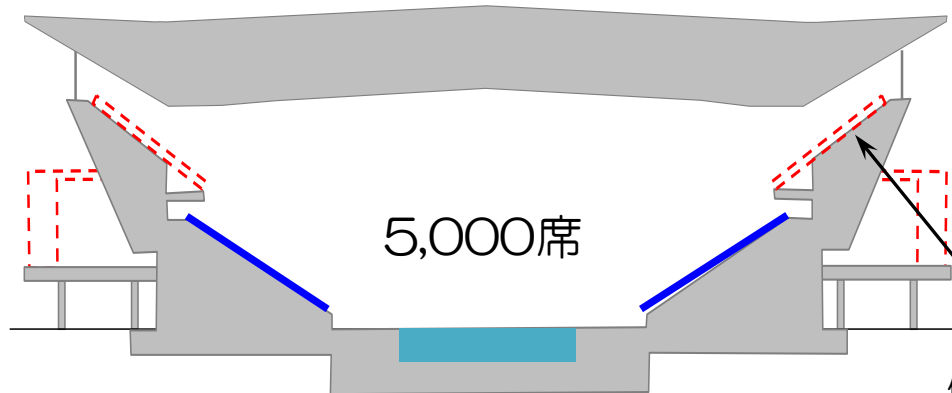


■ 大会時のみ使用する部分  
（仮設建築物扱い）

■ 大会後も残す部分  
（恒設部分）

■ 観客席（恒設部分）

大会後



仮設の観客席を一部残すことも可  
（行政庁との協議が必要）

# オリンピックアクアティクスセンター・15,000席新築（減築なし）案

単位：億円

事項		当初	縮減案	増減	主な縮減内容
● 契約が決まっている整備費		549			
	アクアティクスセンター整備工事(DB)	538	454～464	▲74～84	落札差金・規模の縮小
	調査・設計費	11	11	0	
● 今後措置する経費		104			
	変更設計費	-	5～10	+5～+10	
	大会後の改修工事費	74	29	▲45	減築の取りやめ
	工事中のセキュリティへの対応費	30	5	▲25	工事中のセキュリティ対応費の精査
● 追加工事等が生じた場合の対応費		30	10	▲20	追加工事等が生じた場合の対応費の精査
合計		683	514～529	▲154～169	

※ 整備費及び整備内容の変更については、今後、IF等との協議、受注者との変更協議、詳細な設計等が必要

## 有明アリーナ整備の3つの視点

- 点(施設)から面(地域)へ
- コストから将来への投資へ
- 官から民へ



# 有明アリーナ地域全体の将来イメージ

## “ ARIAKE LEGACY AREA ” ～SPORTS & EVENTS～

### ARIAKE LEGACY AREA



有明テニス  
の森駅

有明体操競技場  
後利用の展示場

有明アリーナ



ゆりかもめ

大型商業施設・ホテル  
ホール・住宅・業務

有明テニスの森公園

(2020年一部竣工)

りんかい線

国際展示場駅

有明駅

航空写真©東京都

# 民間の力を活用した有明アリーナの運営

東京の新たなスポーツ・文化の拠点

- ARIAKE LEGACY AREAのランドマークとなる施設
- 地域の賑わいと発展に貢献




## ○ 民間事業者の創意工夫を最大限生かした施設運営

⇒ コンセッション方式の導入に向けた検討

(検討の視点)

- ・民間事業者の創意工夫を生かせるスキームの構築
- ・民間事業者による追加投資(大会後のニーズに柔軟に対応)
- ・都民負担の縮減(ワイズスペンディング)
- ・地域の活性化への貢献(ARIAKE LEGACY AREA)



**スポーツ、エンターテインメントのレガシーを効果的に実現**

# 有明アリーナ・コスト縮減案

単位：億円

事項	当初	縮減案	増減	主な縮減内容
● 契約が決まっている整備費	371			
建築工事費(DB)	361	326	▲35	軟弱地盤対策工法の見直し等 内外装・設備仕様の見直し
調査・設計費	10	10	0	
● 今後措置する経費	18			
工事中のセキュリティへの対応費	18	3	▲15	工事中のセキュリティ対応費の精査
● 追加工事等が生じた場合の対応費	15	0	▲15	追加工事等が生じた場合の対応費の精査
合計	404	339	▲65	

※整備費及び整備内容の変更については、今後、IF等との協議、受注者との変更協議、詳細な設計等が必要

# 横浜アリーナの検討経過

横浜アリーナ活用プラン（調査チーム・準備局が共同で作成）

## A案

市有地など確保が見込める敷地を活用し、周辺への影響を最小限にして、実現性を高めた配置案

メリット：会場エリアが確保できる確実性が高い

デメリット：運営の安全性、確実性が低い

- 運営諸室面積の不足
- 観客入場のためのスペース不足

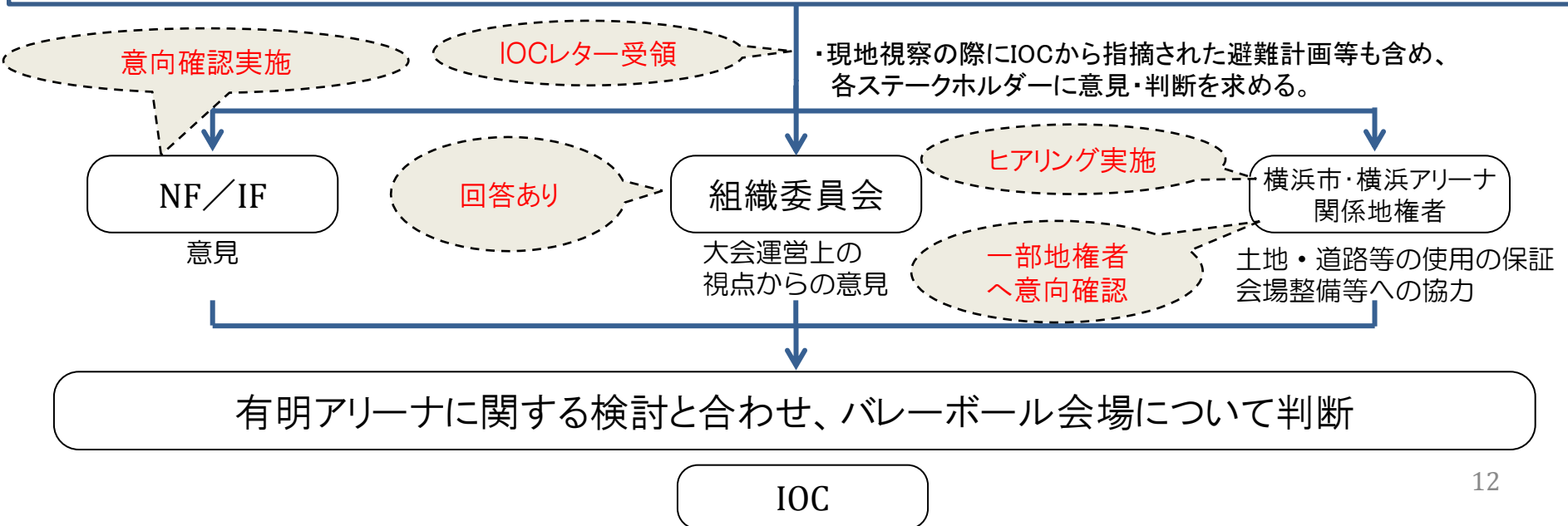
## B案

A案の敷地に加えて、周辺民有地や道路も占用し、運営の確実性を高めた配置案

メリット：運営の安全性、確実性が高い

デメリット：会場エリアが確保できる確実性が低い

- 大会時点での民有地の確保に懸念
- 道路封鎖の実現可能性



# IOC 4者協議フォローアップレター（12/13）に対する対応状況

参考

- IOCから4者協議のフォローアップレターを12月13日に受領
- IOCが横浜アリーナの計画を評価するうえでの重要なポイントを14項目提示

	内 容	対 応 状 況
1	詳細なブロックプランと面積表	ブロックプラン、面積表等を作成 組織委員会に提示し、意見を聴取
2	ウォームアップエリアの詳細図	
3	更衣室、シャワー室（図面、仕様）	
4	座席計画	
5	観客入退場計画（セキュリティを確保し、安全に入退場）	
6	ブロードキャストエリア（5,200㎡）	
7	避難計画	
8	ワークフォースの休憩・飲食場所の計画	
9	関係車両の駐車場と待機場所	
10	施設周辺のコンパウンドエリア（倉庫、清掃・ゴミ等）	
11	市の公有地、私有地の使用に関する保証	市・アリーナにブロックプランを提示し、意見を聴取 その他関係者には、ヒアリングを実施
12	周辺道路の交通制御の保証	
13	施設利用への同意（使用範囲と占有期間を含む使用時期）	
14	車いすを含むアクセシビリティプラン（観客、関係者）	ブロックプラン作成

# 各ステークホルダーからの主な意見

参考

	A案	B案
NF	<ul style="list-style-type: none"> <li>有明アリーナの新設を要望（従来のスタンス通り）</li> </ul>	
IF	<ul style="list-style-type: none"> <li>有明アリーナの新設を要望（従来のスタンス通り）</li> </ul>	
組織委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場スペースの確保、運営動線、バリアフリー等に重大な課題がある                             <ul style="list-style-type: none"> <li>PSA前後のスペース</li> <li>選手と車両の動線交錯</li> <li>ブロードキャストコンパウンド面積</li> <li>駐車場台数</li> <li>VSAの数（関係車両のセキュリティチェック）</li> <li>道路封鎖の範囲（片側のみ）</li> <li>車いす席、トイレ 等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場スペースの確保、運営動線、バリアフリー等に課題が残る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>PSA前のスペース</li> <li>PSA後のセキュリティ確保</li> <li>ブロードキャストコンパウンド形状</li> <li>駐車場台数</li> <li>車いす席、トイレ 等</li> </ul> </li> </ul>
横浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>決まれば協力する、という市のスタンスは変わっていない（11/25文書の通り）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>市有地の利用、道路の封鎖は、まだ保証を出せる段階にない</li> <li>都・組織委員会が、周辺住民から理解を得ることが必要</li> </ul> </li> </ul>	
横浜アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の貸し出しは可能</li> <li>車いす席の配置は別途検討が必要</li> <li>テナント（コンビニ、スタジオ等）への補償が発生する</li> </ul>	
関係地権者	<ul style="list-style-type: none"> <li>（なし）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で、大会時の貸し付けは確約できない</li> </ul>